

令和7年度

壬生町下水道事業会計補正予算
(第1号)

栃木県下都賀郡壬生町

令和7年度壬生町下水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 令和7年度壬生町下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第2条 令和7年度壬生町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条に定めた業務の予定量を次のとおり改める。

（項 目）	（既決予定量）	（補正予定量）	（計）
支 出			
（4）主な建設改良工事			
公共下水道污水管渠建設事業	190,167千円	12,320千円	202,487千円
雨水施設建設事業	4,000千円	4,312千円	8,312千円

（収益的収入及び支出の補正）

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 下水道事業収益	1,973,951千円	516千円	1,974,467千円
第2項 営業外収益	1,243,974千円	516千円	1,244,490千円
支 出			
第1款 下水道事業費用	1,614,588千円	25,219千円	1,639,807千円
第1項 営業費用	1,513,122千円	25,186千円	1,538,308千円
第2項 営業外費用	98,188千円	33千円	98,221千円

（資本的収入及び支出の補正）

第4条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額583,197千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額58,316千円、当年度分損益勘定留保資金260,682千円、減債積立金35,000千円、当年度利益剰余金処分額229,199千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 資本的収入	1,114,083千円	15,800千円	1,129,883千円
第1項 企業債	591,800千円	15,800千円	607,600千円
支 出			
第1款 資本的支出	1,689,785千円	23,295千円	1,713,080千円
第1項 建設改良費	1,141,675千円	23,295千円	1,164,970千円

(企業債の補正)

第5条 予算第5条に定めた起債の限度額を次のように改める。

(起債の目的)	(既決限度額)	(補正限度額)	(計)
公共下水道事業	557,600千円	15,800千円	573,400千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正)

第6条 予算第8条に定めた経費の金額を次のように改める。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	74,744千円	6,929千円	81,673千円

(利益剰余金の処分の補正)

第7条 予算第10条を次のように改める。

当年度利益剰余金のうち229,199千円は、次のとおり処分するものと定める。

(1) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん 229,199千円

令和7年9月2日提出

壬生町長 小 菅 一 弥

下水道事業会計補正予算に関する説明書

令和7年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

令和7年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和7年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

注 記 表

令和7年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入 (単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 下水道事業収益			1,973,951	516	1,974,467	
	2 営業外収益		1,243,974	516	1,244,490	
		6 雑収益		115,045	516	115,561

支 出 (単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考	
1 下水道事業費用			1,614,588	25,219	1,639,807		
	1 営業費用		1,513,122	25,186	1,538,308		
		1 管渠費		33,581	261	33,842	
		2 ポンプ場費		19,845	1,243	21,088	
		3 処理場費		398,780	23,682	422,462	
	2 営業外費用		98,188	33	98,221		
		3 雑支出		0	33	33	

資本的収入及び支出

収 入 (単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本的収入			1,114,083	15,800	1,129,883	
	1 企業債		591,800	15,800	607,600	
		1 企業債		591,800	15,800	607,600

支 出 (単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考	
1 資本的支出			1,689,785	23,295	1,713,080		
	1 建設改良費		1,141,675	23,295	1,164,970		
		1 公共下水道事業費		1,082,368	22,476	1,104,844	
		4 事務費		23,735	819	24,554	

令和7年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	229,199,087
減価償却費	776,613,472
固定資産除却費	33,902,616
賞与等引当金の増減額(△は減少)	△ 263,089
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 389,254
長期前受金戻入額	△ 475,398,376
受取利息及び受取配当金	△ 209,042
支払利息	89,545,405
有形固定資産売却損益(△は益)	62,165
未収金の増減額(△は増加)	△ 74,922,067
未払金の増減額(△は減少)	△ 22,534,736
小計	555,606,181
利息及び配当金の受取額	209,042
利息の支払額	△ 89,545,405
業務活動によるキャッシュ・フロー	466,269,818

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,660,796,942
有形固定資産の売却による収入	33,425
無形固定資産の取得による支出	△ 35,727,166
国庫補助金等による収入	761,070,514
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	33,054,519
受益者負担金及び受益者分担金による収入	9,688,098
工事負担金による収入	12,727,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 879,950,279

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	984,500,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 547,308,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	437,191,172

資金増加額(又は減少額)	23,510,711
資金期首残高	261,860,011
資金期末残高	285,370,722

令和7年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		508,534,359	
ロ 建物	935,158,082		
減価償却累計額	<u>△430,789,584</u>	504,368,498	
ハ 構築物	34,970,161,331		
減価償却累計額	<u>△15,742,142,790</u>	19,228,018,541	
ニ 機械及び装置	6,121,584,064		
減価償却累計額	<u>△4,358,491,591</u>	1,763,092,473	
ホ 車両運搬具	3,508,916		
減価償却累計額	<u>△3,333,470</u>	175,446	
ヘ 工具、器具及び備品	27,441,439		
減価償却累計額	<u>△26,069,358</u>	1,372,081	
ト 建設仮勘定		<u>2,107,740,740</u>	
有形固定資産合計			24,113,302,138
(2) 無形固定資産			
イ 施設利用権		<u>424,840,697</u>	
無形固定資産合計			<u>424,840,697</u>
固定資産合計			24,538,142,835

2 流動資産

(1) 現金預金		285,370,722	
(2) 未収金	199,854,180		
貸倒引当金	<u>△5,531,408</u>	<u>194,322,772</u>	
流動資産合計			<u>479,693,494</u>
資産合計			<u>25,017,836,329</u>

負 債 の 部

3	固定負債				
	(1) 企業債				
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	6,780,595,959			
	企業債合計		6,780,595,959		
	固定負債合計				6,780,595,959
4	流動負債				
	(1) 企業債				
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	541,104,829			
	企業債合計		541,104,829		
	(2) 未払金		194,887,451		
	(3) 引当金				
	イ 賞与等引当金	5,361,519			
	引当金合計		5,361,519		
	(4) その他流動負債		2,309,090		
	流動負債合計				743,662,889
5	繰延収益				
	(1) 長期前受金		23,658,317,713		
	(2) 収益化累計額		△11,499,600,210		
	繰延収益合計				12,158,717,503
	負債合計				<u>19,682,976,351</u>

資 本 の 部

6	資本金				4,540,247,893
7	剰余金				
	(1) 資本剰余金				
	イ 補助金	216,494,944			
	ロ 受贈財産評価額	79,025,008			
	ハ 負担金	1,989,732			
	資本剰余金合計		297,509,684		
	(2) 利益剰余金				
	イ 減債積立金	767,624			
	ロ 当年度未処分 利益剰余金	496,334,777			
	利益剰余金合計		497,102,401		
	剰余金合計				<u>794,612,085</u>
	資本合計				<u>5,334,859,978</u>
	負債資本合計				<u>25,017,836,329</u>

注 記 表

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 8～50年

構築物 35～50年

機械及び装置 6～30年

車両運搬具 4～5年

工具、器具及び備品 4～20年

イ 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

施設利用権 45年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

退職手当の支給については、栃木県市町村総合事務組合で共同処理しており、下水道事業からも定期的な負担金を拠出している。また、それ以外の追加費用については、発生の見込みがないため、退職給付引当金は計上していない。

イ 賞与等引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 引当金の取崩し

ア 賞与等引当金の取崩し

令和7年度において、期末手当、勤勉手当及びそれらに係る法定福利費として15,977千円を支給するため、賞与等引当金5,506千円を取り崩す予定である。

イ 貸倒引当金の取崩し

令和7年度において、債権の不納欠損による損失に対し、貸倒引当金2,625

千円を取り崩す予定である。

3 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、これらの2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に市街地における、し尿・生活雑排水等の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合 計
営業収益	601,334	67,644	668,978
営業費用	1,163,314	315,186	1,478,500
営業損益	△ 561,980	△ 247,542	△ 809,522
経常損益	122,028	108,338	230,366
セグメント資産	17,293,640	7,724,196	25,017,836
セグメント負債	13,656,730	6,026,246	19,682,976
その他の項目			
他会計繰入金	432,785	266,105	698,890
減価償却費	545,283	231,330	776,613
特別利益	0	0	0
特別損失	1,140	27	1,167
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,676,844	19,680	1,696,524